

地域研修カリキュラム

※講師等との調整により、カリキュラムに若干の変更の可能性があります。

●：受講必須
◇：受講任意
■：基礎的な内容
■：応用的な内容も含む

オンデマンド講義
視聴時間約4時間
※受講必須のみの場合

区 分	単 元 名			時間
災害対応業務全般	1	防災行政概要	●	20分
	2	災害法体系と災害対策基本法の概要	●	15分
	3	防災計画の概要	●	15分
	4	地域の災害特性	◇	60分
応援・受援の基礎知識	5	受援体制と受援計画の概要	●	15分
	6	応急対策職員派遣制度の概要	●	15分
	7	地方公共団体間の相互応援と受援体制	●	130分
受援対象となる業務の概要	8	避難所の開設・運営の内容	●	15分
	9	災害廃棄物処理の概要	●	10分
	10	被害認定調査・罹災証明書の概要	●	10分
	11	国としての物資の備蓄および災害時における物資の調達・輸送	◇	15分
	12	インフラ復旧の概要	◇	15分
	13	災害ケースマネジメントの概要	◇	15分
受援対象となる業務の具体内容	14	避難所のライフサイクル	◇	55分
	15	災害時の保健・医療・福祉活動と調整の内容	◇	20分
	16	要配慮者をはじめとする避難者の避難生活支援	◇	90分
	17	生活再建支援業務	◇	77分

リアルタイム研修

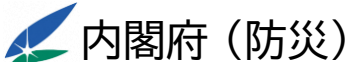
時間	単元	時間	講師	単元の概要
9:30 ～9:40	- (オリエンテーション)	10分	(事務局)	
9:40 ～10:20	1 【話題提供】 事例から学ぶ応援の実態と課題	40分	受援経験のある 自治体職員	災害時の応援を経験した自治体職員の実体験を踏まえた講演を通じて、応援の実態と課題を学ぶ。
10:20 ～11:00	2 【講演】 事例から学ぶ受援の実態と課題	40分	応援経験のある 自治体職員	災害時の受援を経験した自治体職員の実体験を踏まえた講演を通じて、受援の実態と課題を学ぶ。
11:00 ～11:10	- (休憩)	10分		
11:10 ～11:45	3 【演習】 応援・受援の課題の共有	35分	参加者全員	話題提供を踏まえ、グループワークを通じて、お互いを感じた「課題」「備え」のポイントを整理し共有する。
11:45 ～12:45	- (昼休み)	60分		
12:45 ～13:00	4 【講義】 応援・受援に必要な検討事項	15分	内閣府 派遣講師	応援・受援を効率的に進めるために検討すべき事項やポイントについて学ぶ。
13:00 ～15:00	5 【演習】 応援・受援業務における初動 対応演習	120分	内閣府 派遣講師	災害発生初動期の応援要請と応援受入れで検討する演習を通じて、応援要請や応援受入れ時の市町村の役割と、市町村による応援要請における県の役割を学ぶ。
15:00 ～15:15	- (休憩)	15分		
15:15 ～16:00	6 【演習】 全体討論(ふりかえり)	45分	事務局	研修を通じて学び得たものを整理し、日頃からの「備え」につなげることを演習を通して学ぶ。
16:00 ～16:10	- (閉講)	10分	(事務局)	
16:10 ～17:00	- 現地視察	50分	富山県	県庁の危機管理センターならびに防災関連施設を視察(参加は任意)

コーディネーター
【プロフィール】

立命館大学 政策科学部 教授
井ノ口 宗成 氏

新潟大学災害・復興科学研究所助教、静岡大学情報学部講師、富山大学都市デザイン学部准教授を経て、2025年4月より現職。専門は、行動防災学、災害情報学、復興情報学。自治体の地域防災計画、職員防災マニュアル等の作成にたずさわると共に被災地における自治体支援活動を実施。また、効果的な被災者生活再建支援の実現に向けた「被災者台帳システム」の開発実装、災害時の行動分析を可能とするツール「WBSマネジャー」の開発実装を推進。令和6年能登半島地震では富山県氷見市を中心に被災者の生活再建にかかる支援を実施。

共 催



運営・企画

